

各 位

デンカ株式会社

## 当社米国子会社における環境負荷低減の取り組みについて

2015年12月17日、アメリカ環境保護庁（以下EPA<sup>\*1</sup>）は、2011年当時の排出量データなどに基づいた全米を対象とする国家大気有害物質評価（以下NATA<sup>\*2</sup>）を同庁のウェブサイト公表しました。当該ウェブサイトの中で、ルイジアナ州ラプラスにおいてクロロプレンゴム<sup>\*3</sup>を製造している当社子会社デンカ・パフォーマンス・エラストマー社（以下DPE<sup>\*4</sup>）ポンチャートレイン工場の所在する地域が“高い発がんリスクのある地域”の一つに区分されました。同工場は、1969年以来デュポン社が操業してきたもので、2015年11月1日にDPEが取得しました。

DPEは、同工場の取得以降、一貫して法規制（排出基準）を遵守して操業しております。加えて、NATA公表後、DPEはEPAを始めとする連邦及び州の規制当局からの照会への回答や対応策の立案・説明を行うと共に、従業員や地域住民の方々との情報共有にも努めております。

また、“排出物や廃棄物を極力低減する”との当社グループの環境負荷低減方針の下、DPEは、操業中のクロロプレンゴム製造設備からの環境負荷物質排出量を自発的に低減する方法を規制当局と共同で検討し、2017年12月には排出低減設備を導入し、大幅な排出削減を達成しております。

一方、DPEは、NATAにおいて用いられているクロロプレンモノマーに関する発がんリスクが過大に評価され、科学的根拠についても論争があると認識しています。公表されたNATAでは、EPAが2010年に見直したクロロプレンモノマーの毒性評価（物質毎の発がんリスク<sup>\*2</sup>）が使用されていますが、ポンチャートレイン工場勤務してきた2,000人以上の従業員を含む複数のクロロプレンモノマー製造工場の勤務者12,000人以上の従業員を対象とした外部専門家による疫学的研究では、“一般人のがん死亡率よりも低く、クロロプレンモノマーの曝露量と発がん性との間には相関性が見出せない”との結果が示されています。また、ルイジアナ州腫瘍統計局からは、ポンチャートレイン工場のある地域の発がん率は同州全体の発がん率に比べ大きな差異が見られなかったと公表されています。

これらの結果に基づき、DPEは、NATAに使用されるクロロプレンモノマーの毒性評価は見直されるべきであると考え、EPAと共同で見直し作業を進めております。

DPEでは、規制当局と排出削減および毒性評価の見直しについて継続的な協議を重ねると共に、エア・モニタリング（大気中の物質濃度測定）結果を含めた環境対策の効果に関する情報を規制当局を通じ地域住民など関係者の皆様に提供しております。

当社は、上述の環境負荷低減方針の下、DPEの取り組みを支援し、今後とも環境の保全や関係者の皆様の健康維持ならびに不安の軽減に努めてまいります。

(\*1) EPA とは

- U. S. Environmental Protection Agency（アメリカ環境保護庁）の略称で、国民の健康及び自然環境の保護を目的としたアメリカの行政機関です。

(\*2) NATA とは

- National Air Toxics Assessment（国家大気有害物質評価）の略称で、EPA が“有害物質に関して、各地域における排出量に物質毎の発がんリスクを乗じた算出式（大気汚染モデル）”に基づき、大気中の有害物質に晒されることによる包括的な発がんリスクを地域毎に評価したものです。
  - 2015年12月公表のNATAでは、EPAが2010年に見直したクロロプレンモノマーの毒性評価（物質毎の発がんリスク）が用いられており、その評価において、クロロプレンモノマーについては“70年間の平均暴露濃度  $0.2 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下”とすることが推奨されています。
- EPAはこのNATAによるリスク評価を“連邦政府、州政府、地方政府及びその他の利害関係者が、大気中の有害物質に晒されることによる潜在的な健康リスクをより良く理解するための分析方法です。”と位置付けています。また、EPAは“NATAは地理的な地域毎の健康リスクの広範な評価を提供するものであって、特定の個人のリスクを示すものではありません。”とも述べています。

(\*3) クロロプレンゴムとは

- 1931年にデュポンによって発明された歴史のある合成ゴムで、ウェット・スーツや自動車部品のような化学製品や耐候性製品に広範に使用されています。また、接着剤、ケーブル被覆材、コーティングの原材料としても使われています。クロロプレンモノマーはクロロプレンゴムの製造するための原料です。

(\*4) デンカ・パフォーマンス・エラストマー社 (DPE) とは

- DPEはアメリカ デラウェア法人で、デンカ株式会社が70%を出資する合弁会社です。
- DPEは、2014年12月にデュポン社からアメリカ ルイジアナ州セント・ジョン・ザ・バプティスト郡ラプラスにあるクロロプレンゴム（ネオプレン）製造設備等の資産を取得する契約を締結し、2015年11月に事業譲受（取得）を行いました。同社のポンチャートレイン工場には238名（2019年4月1日現在）の従業員が在籍しています。

以 上

[本件に関するお問い合わせ]

C S R ・ 広 報 室

TEL : 03-5290-5511